

議会だより

伊那市議会事務局

TEL 0265-968149
FAX 0265-769117
E-mail: gki@nacity.jp

Vol.28

社会委員会の活動報告

2月13日に、社会委員会が所管する市内の建設中の施設や、利用が一層望まれる施設などについて現地視察を行いました。また、2月16日には保育発表会がいなっせで開催されましたので、その状況について報告します。

● 建て替え中の伊那北保育園

統廃合による建て替え中で、平成27年5月完成予定です。延床面積は約1138平方メートルで、総工費約4億円。急傾斜地に近く、棚沢川が横を流れており、約1mのかさ上げをするなど、災害に対する配慮もされています。

木造平屋建てで、木材がふんだんに使われており、耐震構造が細部にまでしっかり施され、南向きで陽の光が十分届く明るい園舎になりそうです。

定員120名で、保育室が6室、遊戯室が2室、トイレ、給食



伊那北保育園の建設現場

室も各々広く確保され、環境教育にも役立つ出力10kWの太陽光発電も設置されること。立派な園舎完成が待たれます。

● 利用増が望まれる長藤健康増進施設

長藤健康増進施設には、看護士有資格者2名が交代で勤務し



トレーニングルーム

● デイサービスセンター「くつろぎの家(長藤)」

くつろぎの家には、27名(内認知症8名)が通所利用しています。利用者は年々減少傾向にあります。原因は利用者が入院して減少することや、民間施設が増えていること、長期滞在型が増えていることなどです。

地域包括ケアシステムの構築も

ています。

プール室は、歩行用の温水プールで、水中運動・水中ウォーキングに使われており、機能訓練室にはトレーニング機器8種類があります。

この施設は、体力づくり、健康増進、そして介護予防のためにも有効な施設です。利用者が伸び悩んでおり、多くの市民にご利用いただきたいと話していました。

● 伊那プラムの里(みぶの里)

含め、社会福祉協議会のあり方が問われてきています。

社会福祉法人しなのさわやか福祉会がナイスロード沿い美篤地区に建設中の3階建ての施設は、落ち着いた雰囲気の外観です。

老人保健施設や小規模特養老人ホームは9人から20人単位で生活するゆつたりとした造りです。デイケアや認知症デイサービスも明るい間取りです。

訪問看護やケアマネージャーの事務所もできます。県の補助も活用してできる施設です。

● 保育発表会を開催

2月16日、いなっせで第5回保育発表会が開催されました。テーマは「伊那市の子どもの未来を語る。子どもたちにつけたい力」と題して行われ、市内全園での事例を発表しました。

食事についての「食育」や木のおもちゃで遊ぶ「木育」等を紹介しました。園内に生えている樹木をシンボルマークにして、1年を通して観察し、不思議がる子どもを育てる「がらがるっこ」の取り組みを発表。



保育士による発表の様子

その後、今回は初めて5名の有識者によるパネルディスカッションが行われました。丸山子育て審議会長は「家庭での親子のあり方が大切で、親が子どもの話を聴くことが大切」と述べ、田中幼保小連携推進委員は「連携がなぜ大切なのかは、保育園で楽しく感じて小学校に上がる、小学校でも遊びを取り入れながら勉強に繋がっている。そのことを家庭でも感じてほしい」と発表されました。

まとめて白鳥伊那市長は「自然の中で楽しい思い出を作る原体験や、伊那市の素晴らしさを伝えて欲しい」と締めくくりました。

毎年有意義な発表会が開催されています。